

平成三十年三月二日開会

平成三十年年度池田町一般会計予算、特別会計予算

並びに企業会計予算提案説明要旨

平成三十年度の町政に取り組む施政方針及び一般会計・特別会計並びに企業会計についてご説明申し上げます。

現在、国内景気は緩やかな回復基調が続いており、企業収益が伸び、個人消費は持ち直しの動きが続き、自動車など幅広い業種で好業績が見られます。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあつて、緩やかに回復していくことが期待されている状況でございます。ただし、世界経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるなど、不透明な経済状況が続いているのも事実でございます。

こうした状況の中、政府は新しい経済政策パッケージを閣議決定し、教育負担の軽減・子育て世代支援・介護実現に向けて働き方改革や女性の活躍の推進、保育や介護と仕事の両立、持続可能な社会保障制度の構築に取り組むこととしています。

一方、県内経済に目を向けると、生産面では輸送機械や金属製品を中心に持ち直しの動きが継続している状況であり、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している状況であります。また、雇用情勢は改善がみられ回復傾向が継続しています。

このような経済情勢のほか、町をとりまく環境に係る大きな変化として、㈱養老鉄道を第二種鉄道事業者とし、一般社団法人養老線管理機構を第三種鉄道事業者とする新しい運営形態が始動し、地域の交通手段として、しっかりと支えていきたいと考えております。

また、今年度は池田町第六次総合計画策定のためのアンケートを実施し、意見の集約や現状の問題点の把握に努めてまいります。また生活基盤の支援を進め、子育て・就労応援センターの運営や妊婦健診等を

受ける際の移動手段として利用したタクシー費用の一部助成を行い、安心した子育てができるよう支援してまいります。

企業誘致につきまして、東海環状線大野神戸インターチェンジ開通を見据えて、町内企業拡張支援並びに企業誘致にも努力をしております。

そのほか、町全体としましては、少子化、教育、観光、移住定住対策支援を充実させ、さらに施設整備として、南部リサイクルセンター建設事業や片山保育園建設事業を行います。また地方創生総合戦略等に基づいて町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針ですので、議会におかれましてもご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、本町の平成三十年年度予算規模についてですが、

一般会計	九十二億	八百万円
国民健康保険特別会計	二十四億六千	万円
後期高齢者医療事業特別会計	二億五千八百	万円
農業集落排水事業特別会計	三億八千八百	万円
公共下水道事業特別会計	九億六千八百	万円
温泉施設特別会計	二億四千七百	万円
小水力発電事業特別会計	七百万	円

で、総額百三十五億三千六百万円の前年対比七億三千八百万円（五・八％）増の大型予算と致しました。それでは、町の重要施策と予算の概要についてご説明申し上げます。

初めに一般会計についてご説明申し上げます。

歳入については、町税のうち町民税では、景気の持ち直しを反映して、個人町民税及び法人町民税の増加が見込まれ、前年対比で一・九％増の十二億二千八百六十六万六千円を計上しました。

一方、固定資産税については、家屋の評価見直しによる減価及び町内企業の償却資産が減少することにより前年対比で四・一％減の十四億五千六百万三千円と見込んでいます。この結果、町税全体の予算は前年対比で一・九％減の二十八億五千八十一万円を計上しました。

また、南部リサイクルセンター建設事業に伴い、国庫支出金につきましては、前年対比二十八・五％増の七億八千九十六万円、諸収入につきましては、学校給食費を町で徴収することになるため前年対比百二・四％増の二億七千七百九十四万三千円を計上しました。

地方交付税につきましては、前年と同額を見込み、普通交付税については十四億七千万円、特別交付税については一億一千万円を計上しました。

寄附金につきましては、前年対比一・三％増の五億一千三十万円を計上しました。そのうち、ふるさと納税につきましては前年と同額の五億円を見込んでいます。

町債につきましては、南部リサイクルセンター建設事業及び片山保育園建設事業により、前年対比七十四・七％増の九億八千四百万円を計上しました。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金で二億円、ふるさと支援まちづくり基金繰入金で五億一千九百万円を計上しました。

それでは、歳出について申し上げます。

総務行財政関係では、個人情報保護対策事業や庁舎管理業務などを行います。これらに関する予算として、四億一千百九十一万九千円を計上しました。また選挙関係では、町長選挙と県議会議員選挙を予定し

ております。これらに関する予算として、一千七百七十万円を計上しました。

次に、消防防災関係では、消防団及び自主防災組織の活動支援並びに防災拠点整備事業を実施し、地域住民の防災意識の向上に努めることとし、これに関する予算として三億三千七百七十六万五千円を計上しました。

次に公共交通関係では、本年一月より第三種鉄道事業者となりました一般社団法人養老線管理機構に対する負担金等で一億一千八百九十二万七千円。なお、養老線利用促進事業として七五歳以上の方のマイルチケット21の割引については六五歳以上へ引き下げることとし、更なる利用促進を図ります。コミュニティバスの運行事業について二千三万二千円を計上しました。

地方創生やまちづくり事業として、池野駅の駅舎である「霞溪舎」の運営管理、まちの活性化のため自主的や主体的な取組に対して支援する地方創生プロジェクト助成事業、100歳まで働ける「BABARAボ岐阜池田」創出事業の支援を行ってまいります。

移住定住推進事業として、移住体験ツアーの実施や引き続きUターン・Iターン支援事業を行ってまいります。

また、平成三十二年度からはじまる第六次総合計画に向けてのアンケート調査費用として二百五十万円。交通安全関係としまして、交通事故防止啓発や交通安全施設の設置管理などで九百八十一万四千円。町外の多くの皆様から寄附をいただいていますと納税推進事業には五億円の予算を計上しました。次に、広報関係では、町の大切な情報発信手段である「広報いけだ」の発行として五百六十七万四千円を計上しました。

情報管理の関係では、町が保有するネットワーク・情報機器の維持管理を適切に行い、情報に対するセ

キュリティ強化にも努めることとし、七千二百七十二万五千円の予算を計上しました。

次に、税務関係では、町税等賦課事務電算業務委託事業に九百十六万九千円、土地家屋の現況調査及び航空写真撮影委託事業に九百七十六万一千円の予算を計上しました。

次に、戸籍住民関係では、戸籍・住民記録・印鑑の届出や証明書の発行、通知カードや個人番号カードの交付、住民基本台帳ネットワークシステムの運用など、これらに関する予算として四千六百五十五万三千円を計上しました。

次に、環境関係では、南部リサイクルセンター建設事業として、工事請負費及び監理業務委託料に二億八千八百六十八万四千円などの予算を計上しました。

次に、社会福祉関係では、地域活動支援センターの運営や日常生活用具の給付等を行う地域生活支援事業に二千四百五十五万四千円、障がい者の介護支援や就労支援を行う自立支援給付事業に二億九千六百七十九万五千円、障がい児の発達支援や放課後等デイサービス事業を行う障害児福祉サービス事業に六千八百三十四万円、婚活イベント支援などを行う若者コミュニティ活性化事業に四十四万円、十八歳以下の子どもや重度心身障害者等の医療費を負担する福祉医療扶助事業に二億六千六百万八千円の予算を計上しました。

次に、児童福祉関係では老朽化した片山保育園の建設事業費として四億七百万円を計上し、来年一月から新園舎で保育ができるよう進め、子育て・就労応援センターでは、八幡児童館の移転に伴う児童館活動、未就園児親子や妊婦のための子育て支援センター業務、就労を希望する子育て世帯への就労応援等三つの事業を行い、少子化対策として、すくすく赤ちゃん券支給事業に三百十万円を計上し、一律二万円の助成から第一子目には二万円、第二子目には三万円、第三子目以降には四万円を支給するよう改め、新生児一

人につきオムツ用ゴミ袋、三十枚を交付してまいります。このほかに、放課後児童クラブの運営に三千五百五十八万八千円、児童館の運営に千五百十四万一千円、子育て支援事業に六百五十九万三千円、子育て世帯就労応援事業に百六十万円を計上しました。また、児童手当事業に四億一千二百万円、ことばの教室の運営事業に四千五百三十二万四千円などの予算を計上しました。

次に、高齢福祉関係では、長寿をお祝いするための長寿者褒賞事業、七十八歳以上の方を対象とした敬老会事業、老人クラブへの活動助成、養護老人ホームへの入所措置、徘徊高齢者家族支援サービス事業及び独居高齢者世帯等への緊急通報システム設置事業などを行ってまいります。これら関係予算として七千三百三十二万九千円を計上しました。

次に、介護保険関係では、揖斐広域連合より受託し全高齢者を対象とした一般介護予防を含めます介護予防・日常生活支援総合事業を実施してまいります。揖斐広域連合への負担金を合わせ、関係予算として三億五千三百七十二万九千円を計上しました。

次に、母子保健関係では、子育て家庭の支援として、妊婦健診等を受ける際の移動手段として利用したタクシー費用を一部助成することにより、妊娠、出産及び育児にかかる身体的及び経済的負担を軽減し、必要な保健医療福祉サービスを受けることで孤立を防ぎ、安心した子育てができるよう支援してまいります。また、良好な妊娠出産ができるよう、定期的な妊婦健診の受診を推進していくとともに、高額な医療費がかかる不妊治療につきましても、費用の一部を助成し、経済的負担の軽減と少子化対策の推進を図ってまいります。また母子保健推進員によるこんには赤ちゃん訪問も引き続き実施し、様々な悩みを聞き、子育てに関する情報提供をするなど子育て支援体制も整えてまいります。これらに関する予算として二千四百四十二万五千円を計上しました。

次に、成人保健関係では、がん検診の受診率向上を図るため、特定の年齢の方に子宮頸がん及び乳がん検診無料クーポン券を交付してまいります。大腸がん検診は、全員無料で受診できるよう実施します。また、健康増進事業として、肝炎ウイルス検診・歯周病検診及び骨粗鬆症検診を引き続き実施してまいります。さらに、特定健診につきましては、未受診者に対し積極的に受診勧奨を行うとともに、受診者に対しては、結果に応じて保健指導を行い、生活習慣病予防を図ってまいります。これらに関する予算として三千七十二万三千円を計上しました。

次に、予防事業関係では、乳幼児の予防接種をはじめ、予防接種法に基づく予防接種を従来どおり実施することとし、これに関する予算として五千九十三万二千元を計上しました。

次に、農業振興関係では、本年度より指定管理者制度を導入し、いび川農業協同組合が茶業振興センターを活用し、茶業の振興、茶業従事者の技術向上及び後継者育成を図ります。また、担い手農家等への機械導入助成や、新規就農者支援を行ってまいります。さらに、農道や水路などの地域資源を守る環境保全を推進することとし、これらに関する予算として一億四千七百二十四万九千円を計上しました。

次に、林業振興関係では、池田の森地内で広葉樹の植栽等を引き続き行い、森林環境の整備を進めます。また、池田山を活用した林業体験事業、間伐体験活動なども実施し、これらに関する予算として一千五百六十七万七千円を計上しました。

次に、観光振興関係では、大津谷公園のトイレ改修・桜山館の改修、霞間ヶ溪花畑の管理等の観光施設を整備、霞間ヶ溪公園周辺交通量緩和等図るため、ふれあい街道の迂回ルートの概略計画を進めるほか、レンタサイクルを活用した「池田まるっと体験交流ツアー事業」や町民の方の情報に基づくオリジナルの観光情報冊子を作成し、観光客の誘客を進めます。さらに、「西美濃広域観光推進協議会」や「西美濃夢

源回廊協議会」といった広域観光の取組を活用して、中京・関西方面などの旅行会社などへの観光PR活動も実施してまいります。これらに関する予算として八千二百二十四万八千円を計上しました。

次に、農業農村整備関係では、県営事業において、農道施設強化対策事業揖斐中部第三期地区として、広域農道の一部路面改良工事が施工されるほか、五ヶ年計画の最終年となる農村振興整備事業では、関係土地改良区と連携を図りながら農業用排水路の補修・改良が進められ、事業の完了を目指します。そのほか、町単独事業と合わせ、農地関係予算として一億一千六百三十四万四千円を計上しました。

次に、林道関係では、県単独補助事業の林道池田く明神線開設事業を引き続き実施するなど、林道関係予算として三千五万二千円を計上しました。

また、一月一日早朝に発生した山腹法面の崩壊では、土砂が道路をふさぎ、初日の出を見るために入った車両8台が取り残される事態となりました。今後、現場周辺一帯について、県農林事務所の治山事業と調整を図りながら、保安林の指定、土質調査並びに対策工法の検討を進めてまいります。

次に 土木関係では、道路の個別管理計画策定の基礎となる五年に一度の道路路面性状調査を実施するほか、社会資本整備総合交付金事業においては、本郷地内の交差点改良、主要な橋梁の点検・修繕を実施します。また、今年度より、民間による宅地開発において、町に寄附となる道路の舗装工事を町負担とすることで宅地分譲を誘導し、移住・定住の促進を図ります。また宮地地区土地利用計画策定のため調査も併せて行います。これらを含め、道路・排水路の維持管理、改良整備に三億六百四十九万八千円を計上しました。

近年増え続ける空き家については、平成二十九年度には庁舎内に各課連携した担当者会議を組織しました。平成三十年度には、その上位に有識者で構成される対策協議会を設置し、実効性のある空き家対策計

画を策定するなど、効果的な施策を展開してまいります。

次に、地籍調査関係では、願成寺南地区の成果の認可を得て調査完了を目指すほか、新規に山洞地区の事前調査を進めます。地籍調査関係予算として、二千六十五万円を計上しました。

都市計画関係では、十年ごとに更新される揖斐都市計画区域マスタープランが平成三十二年に作成されることに従い、将来の東海環状自動車道の開通や時代による変化を見据えたまちづくり計画を策定するため、都市計画マスタープラン策定業務を実施します。これらの関係予算、一千七百四十三万一千円を計上しました。

次に道の駅池田温泉では、開駅から約六年八ヶ月が経つ中、先進的な観光地では取り組みが進んでいるフリーのワイファイ（W i | F i）環境を道の駅に構築し、来駅される方の利便性を図ってまいります。さらに最近来駅者の多い自転車愛好家の休憩所を作るとともに、情報拡散力が注目されている写真投稿サイト「インスタグラム」を活用して道の駅の人気スポット化を図ってまいります。この他、子ども遊び広場に設置してある電動遊具を活用した家族連れの利用者を増やすなど、さまざまな取り組みにより町の観光拠点、地域振興施設としての役割を充実させ、前年対比約二%増の年間三十六万六千人の利用者数を目指します。これに関する予算として二千八百七十九万円を計上しました。

次に、学校教育関係では、小中一貫した福祉教育及び外国語活動並びに中高連携したキャリア教育に取り組めます。特に今年度から子育て世代を支援するため、入学祝い金や中学生夢交付金を支給します。次に外国語活動推進事業として中高生の海外派遣や外国語講師の派遣、オーリングリッシュの合宿を実施し、英語教育の推進事業に一千六百九十八万四千円、小学校に特別支援学級支援員や特別支援アシスタントを配置する特別支援教育支援事業に二千五十八万一千円を計上しました。

中学校では今年度より二学期制に切り替え、生徒が落ち着いて学校生活を送れるように万全を期してまいります。次に、学校給食の関係では、新たに給食費の公会計化に取り組みます。

次に、生涯学習関係では、中央公民館や地区公民館等で二百五十の講座・教室を開講して、町民皆さんの生涯学習の振興を図ることとし、青少年育成関係では、青少年育成推進員・少年補導員を中心とした町内パトロール等を実施することとし、文化財保護関係では、郷土資料の収集、調査等を進めてまいります。これらに関する予算として、一億三千三百四十三万六千円を計上しました。

次に、体育関係では、健康で活力に満ちた生涯スポーツ社会の実現を目指すために、霞間ヶ溪スポーツ公園に幼児向け、老人向け遊具を設置し、また、土地開発公社の保有土地処分計画に基づき、八千三十五万四千円で南部公園駐車場用地の取得を行います。これらに関する予算として一億九千三十三万八千円を計上しました。

次に、図書館では、図書館資料の充実、読書活動の推進を図る啓発事業、くつろぎ環境整備、町の偉人や史跡等を漫画でPRするための調査を進めていく予算として七千八百三十五万七千円を計上しました。次に、国民健康保険特別会計についてご説明申し上げます。

国保制度の改革により平成三十年から、都道府県が財政運営の責任主体となり、国保運営に中心的な役割を担い、市町村は、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収等を引き続き実施します。また保健事業につきましても、町民の方の健康意識の向上を図るとともに、生活習慣病対策であります特定健康診査事業を引き続き実施してまいります。これら国民健康保険特別会計関係予算としまして二十四億六千万円を計上しました。

次に、後期高齢者医療事業特別会計についてご説明申し上げます。

岐阜県後期高齢者医療広域連合において、二年ごとに保険料の見直しがされ、平成三十年度は保険料の改定があります。市町村の事務として保険料の徴収や各種申請、届け出の受付などの窓口業務を行ってまいります。また、保健事業としましては、引き続き岐阜県後期高齢者医療広域連合より受託し、生活習慣病の早期発見・早期治療のため、ぎふ・すこやか健診を実施すると共に、歯や歯肉の状態及び口腔清掃状態のチェックを行い、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、健康増進を図るため、ぎふ・さわやか口腔健診及び訪問口腔検診を実施いたします。これら関係予算としまして二億五千八百万円を計上しました。

次に、農業集落排水事業特別会計についてご説明申し上げます。

農業集落排水事業につきましては、七処理区が供用されており、生活環境の向上と公共用水域の水環境の再生・保全に寄与しております。これに関する予算として三億八千八百万円を計上しました。

次に、公共下水道事業特別会計についてご説明申し上げます。

公共下水道事業につきましては、平成十五年四月から供用開始された池田処理区が、平成二十九年度末には五百二・一ヘクタールが整備され、進捗率は七十三・五％となります。本年は、主に萩原地域の管渠布設整備を進めてまいります。また、本年一月末現在で接続率は約五十七・六％の状況であります。公共ますへの接続を積極的にお願ひし、接続率の向上に努めてまいります。また、本年度より流入量の増加により汚泥処理棟の建設を進めてまいります。池田浄化センターの適正な維持管理に心掛け、下水道事業の健全経営に努めてまいります。これに関する予算として九億六千八百万円を計上しました。

次に、温泉施設特別会計についてご説明申し上げます。

池田温泉は、十八府県、二百の温泉施設による「温泉シールラリーゆらん」の最新ランキングで総合十

位、泉質で二位となりました。その内、岐阜県エリアでは、総合四位、泉質一位と、お客様からの高評価を維持しております。今年度は、入浴利用者総数一、〇五〇万人の早期達成と年間入浴者総数五十一万人を目標とし、施設の整備・点検、お客様サービスの充実を一層進めながら、集客確保に努めてまいります。主な事業内容としましては、本館にあります源泉ポンプの入替工事を行います。また、ソフト面でのサービスでは、お客様に定着してまいりました元旦の特別営業をはじめ、来館者一、〇五〇万人達成記念イベントの他、本館・新館での周年記念イベントを実施するなど、各種イベント・サービスの充実に努めてまいります。これらに関する予算として二億四千七百万円を計上しました。

次に、小水力発電事業特別会計についてご説明申し上げます。

農業水利を活用し、発電事業を行い、売電収入により、施設の維持管理を行います。これに関する予算として七百万円を計上しました。

次に、水道事業会計についてご説明申し上げます。

水道事業は、生活に不可欠なライフラインであることを鑑み、将来にわたって安定的な事業の運営が必要であり、これまで以上に安全で良質な水を供給すると共に、経営の効率化を進めてまいります。これらに関する予算として収益的収入に三億八千五百五十三万六千円、収益的支出に三億五千三百二万円、資本的収入に六億三千九百六十四万四千円、資本的支出に八億九千六十二万六千円をそれぞれ計上しました。

以上、議第二十六号から議第三十三号まで一括提案申し上げます、平成三十年度の町政に取り組む施政方針及び、一般会計・特別会計並びに企業会計予算の提案説明と致します。